

一般質問

■ NHK大河ドラマ誘致の働きかけについて
大河ドラマ誘致の機運の醸成を図れ！

質 この秋、県内では国民文化祭が開催され、各市町で多彩な文化イベントが目白押しである。当市でも長谷川等伯展や等伯の生涯を描く演劇、「等伯〜反骨の画聖〜」が無名塾、市民合同での公演が開催される。

これを機会に、大河ドラマ誘致の機運醸成が必要と考えるが、観光対策のひとつとして大河ドラマ誘致の働きかけに力を入れることを要請し、市長の考えを伺う。

答 長谷川等伯を主人公としたNHKの大河ドラマが実現されれば、生誕の地である七尾や能登への経済効果は非常に大きいと考える。

全国で多くの自治体が誘致に取り組み、令和7年までの大河ドラマは既に決まっている。また、誘致には5年程度を要すとされ、計画的に進めていく必要がある。

まずは、「等伯〜反骨の画聖〜」を成功させることが重要である。脚本、演出等の制作会社やNHKのほか関係する機関へのアプローチも必要と考えており、誘致を行う環境を整えられるよう、また、市民の機運の醸成が図られるよう、関係団体とも力を合わせていきたい。



佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)



木戸 奈諸美 議員
(あすなる)

一般質問

■ 指定管理者制度導入施設の管理運営状況評価の見直しについて
評価基準の更なる見直しについて見解を伺う。

質 現在74の施設で指定管理者制度を導入しており、管理運営状況評価が行われているものの、市民の方からは曖昧な部分があり、実態が分かりにくいとの指摘を受けている。現在の管理運営状況評価では、指定管理者の実績という点ではあまり焦点が当てられていない。昨年度、管理運営状況評価を一部改正されているが、どのような点を改善したのか伺う。

答 指定管理者の評価については、毎年度施設ごとに指定管理者から提出される管理運営状況評価に基づいて行っている。令和4年度分からは、評価項目を5項目から12項目に見直しを行っている。例えば個人情報保護について体制が整っているか、障害者や高齢者等に配慮した管理運営となっているかなど時代の要請に沿った項目を追加し、よりきめ細やかな評価を行っている。市の評価を反映させた後の管理運営状況評価については、毎年度、施設ごとに市のホームページに公開している。

指定管理者においては、施設の管理運営に当たり、利用者アンケートや利用者からの苦情等の声に対する改善案等の報告も行っており、市としても今後とも管理運営の実態の把握に努め、引き続き指定管理者と共によりよいサービスの提供につなげていきたいと考えている。



指定管理者制度